

議会だより



議員視察研修 北淡震災記念公園（11ページへ掲載）

6月 定例会

議案審議内容	2
一般質問	3～8
委員会報告	9～10
議会活動	11
議会の動き、地域活動写真募集、9月定例会の日程	12

平成29年第2回定例会

平成29年第2回定例会は、6月13日から15日までの3日間の会期で行われました。

町長からは、報告事項5件、承認事項4件、平成29年度補正予算5件、条例改正2件、人事案件9件、議員より発議1件が提出され、それぞれ原案どおり承認、可決、同意しました。

6月議会の議案審議結果

承認第2号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成28年度一般会計補正予算（第7号））	全員承認
承認第3号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成29年度一般会計補正予算（第1号））	全員承認
承認第4号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（町税条例の一部を改正する条例）	全員承認
承認第5号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	全員承認
議案第29号	平成29年度一般会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第30号	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第31号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第32号	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第33号	平成29年度水道事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第34号	特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第35号	半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例等の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第36号～44号	野辺地町農業委員会委員の任命の件	全員賛成同意
発議第1号	議会基本条例の一部を改正する条例	全員賛成可決

平成29年度 補正予算

〈一般会計〉 (第1号) (第2号)	補正額 223万円○ △2億3,323万円○	総額 64億8,223万円 62億4,900万円
〈特別会計〉 国民健康保険事業 (第1号)	△1,104万円○	20億7,809万円
後期高齢者医療 (第1号)	△48万円○	1億5,171万円
介護保険事業 (第1号)	△637万円○	16億2,888万円
水道事業 (第1号)	●収益的収入及び支出 ※職員の変動により、収益支出の項目間の額(357万円)の移動で、総額に変更はありません。ただし、職員の給与費の補正は、議会の議決事項となっています。	2億8,652万円

県農民運動連合会から、「収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める陳情」が提出され、審議の結果、議員配布としました。

陳情

議員の健康づくりを推進し、実りある議会活動を行うための条文を新たに加えました。

発議第1号
議会基本条例の一部を改正する条例

●高田光雄氏
●野田政子氏
●村山勝雄氏
●高松誠氏
●野山淳一氏
●福士重太郎氏
●田村敬一氏
●毛利勝廣氏

公選制から議会の同意を得て任命する選任制へ法改正がなされたことを受け、次の方々が新たに任命されました。

農業委員会委員の任命について

6月定例会では

5

名の議員から一般質問



町政のことが聞きたい！

次のページから、登壇順で掲載します。

4ページ 中谷謙一 議員

- ◆町制施行120周年式典と北前船寄港地フォーラムについて
- ◆公共施設への多目的トイレ設置について
- ◆犬、猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて

5ページ 野村秀雄 議員

- ◆グローバルGAPの認証取得について
- ◆北前船寄港地フォーラム in のへじの詳細について

6ページ 小坂 徹 議員

- ◆経費削減について
- ◆人事管理の適正化について
- ◆再任用職員の活用について
- ◆定住促進に対する新規採用について
- ◆県立高校再編計画について

7ページ 熊谷晴雄 議員

- ◆団体観光客に対応した公衆トイレを設置しては

8ページ 江渡正樹 議員

- ◆役場庁舎複合施設整備基本計画をつくっては
- ◆「生ゴミの減量化・紙類の資源回収は町財政を豊かにする」について

一般質問
とは

町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問するものです。質問する議員も、回答する行政側も十分な時間が必要なことから、事前に質問内容を通告する通告制が採用されています。質問時間は1名に対し、質問答弁を含め60分以内で行われます。再質問からは一問一答方式が採用されています。また、一般質問など、定例会の会議録は議会事務局で閲覧が可能です。閲覧希望の方は議会事務局までお越しください。



なかや けんいち
中谷 謙一議員

問①町制120周年式典と北前船寄港地フォーラムについて

問①

8月28日に開催予定の「町制120周年式典」と、9月1〜2日に開催予定の「北前船寄港地フォーラム」について具体的に説明を。

町長

当町は明治30年8月28日に町制を施行し120周年を迎えることから、来る8月28日から、120周年記念式典を町立体育館で開催します。町民へのPRは、広報において特集を掲載するとともに、町のホームページにも掲載することで、町内外の方々にも周知を図っていきたくと考えています。



北前船寄港地フォーラムは、当初9月1日から2日にかけて開催する予定でしたが、フォーラム相談役より、開催目的である寄港地間の連携や、地域間交流による地域の活性化を図るため、野辺地町での開催に1人でも多く出席していただけるよう青森市内での前夜祭を含めた開催について提案を受け協議を進めた結果、前夜祭を含め、8月31日から3日間の日程で開催する承認を受けたところです。

問②公共施設への多目的トイレ設置について 問③犬、猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて

問②

高齢者や子供連れ、車イス使用者など、多様な方々の行動範囲が今後さらに広がっていくことが考えられるが、公共施設への多目的トイレ設置の検討をされています。



愛宕公園内の多目的トイレ

町長

公共施設への順次設置を行っていきたくと考えています。

問③

今年度2頭の犬と1頭の猫が保護された。猫は残念ながら亡くなり、犬1頭は飼い主が判明し帰っていったが、1頭は当方で一時保護をしている状態。犬や猫の殺処分ゼロへ向けた町としての取り組みを伺う。



中谷議員が保護している犬
お心当たりの方はご連絡を

町長

町では発見者からの聞き取りや2日間ほどの保護、写真入りの広告などでの周知、警察署への情報提供などで飼い主の捜索にあたっている現状です。今後、関係団体等と一層の情報提供と連携を深め、飼い主のもとへ返せるよう、殺処分ゼロに向け努力していきたいと考えています。

問① グローバルGAPの認証取得について



のむら ひでお
野村 秀雄議員



町の特産品である葉つきこかぶの畑

問①

のへじ葉つきこかぶや長芋などの知名度・信頼度向上のため、グローバルGAPの認証取得を農家に働きかけ、協力や指導を行うべきでは。

町長

認証を取得するためには約200項目以上の国際基準をクリアしなければならず、生産者や関係団体はそれ相応の準備や心構えが必要であると思います。しかしながら今後の競争力強化と、知名度や信頼度向上のためにはグローバルGAP認証の取得が必要と考えられていますので、今後働きかけや協力などを行っていきたく考えています。

●グローバルGAPとは
農業生産の環境的、経済的及び社会的な持続性に向けた取り組みのこと。
結果として安全で品質の良い食品及び非食品の農産物をもたらす。

問②

9月に開催予定の「北前船寄港地フォーラムのへじ」の詳細について説明を。

町長

8月31日(木)から9月2日(土)までの3日間の日程で開催します。
31日は青森市内で前夜祭を開催し、1日の午後からまかど観光ホテルを会場にフォーラムを実施する予定です。プログラムは3部構成で、1部の祭り日での出迎えを皮切りに、2部で基調講演や演奏会を、3部ではパネルディスカッションや次期開催地の鳥取県



6月に淡路島で開催された「北前船寄港地フォーラム」の様子

問② 北前船寄港地フォーラムのへじの詳細について

鳥取市長からの挨拶などでフォーラムを閉会する予定です。また、フォーラム後予定しているレセプションでは、ホタテやこかぶを活用した試食や特産品の販売、みちのく丸にかかわる映像の放映や、郷土芸能を始めとするアトラクションなどを計画しています。最終日の2日はエクスカーションとして、町内観光歴史施設めぐりやみちのく丸の見学などを行い、見学後、最寄の駅や空港へ送迎し、フォーラムを終えたいと考えています。



とある 徹議員
こさか 小坂

問①経費削減について 問②人事管理の適正化について

問①

経常的経費の業務委託や各種団体への補助金等の見直し、義務的経費である人件費は今後どのように進めていくのか。

町長

一例として窓口業務を臨時職員の任用や再任用職員の配置などで経費節減を図っているほか、業務委託も検討することとしています。また、終了期限の設定や各種団体の自立を促す支援を行っていることで補助金の減額も図っていきたくと考えています。義務的経費である人件費の削減については、28年3月に策定した定員管理計画の基本方針に基づき、退職者数や北部上北広

域事務組合との人事交流等を勘案したうえで採用人数を決定していきます。

問②

人事管理適正化に向けた人事評価への取り組み、能力開発や研修等に対する方策は。

町長

職務上の行動等を通じて顕在化した能力を評価する能力評価と、果たすべき職務をどの程度達成したかを評価する業績評価を導入したところで、今後はこの2つの評価の結果を活用していくこととなります。研修等による自己研さんは常日頃から積極的取組を指示しており、今後も機会を増やしていきます。

問③再任用職員の活用について 問④定住促進に対する新規採用について 問⑤県立高校再編計画について

町長

（問③再任用職員の活用について）
定員管理の状況や当該職員の勤務実績等に基づき65歳に達する年度末まで任期を更新できるものとしています。週25時間の短時間勤務で、当面はフルタイムでの再任用は厳しいのではと考えています。

（問④定住促進に対する新規採用について）
国からの通知により、基本的な人権を尊重し、本人の持つ適正や能力以外のことを職員の採用条件にしないことと指導されており、今後は同様に町内に居住しているか否かにとらわれず、採用選考を実施していきたいと考えています。

問⑤

生徒数の急激な減少期に入ることや背景に、県教育委員会は県立高校再編の第1期実施計画案を公表した。支援策を打ち出し、行動を起こすべきと考えるが。

町長

28年度から学力向上を目的に、夏期及び冬期に行われる予備校講習会への参加費用について助成を行う「人材育成助成事業」を継続しています。野辺地高校存続のためには、国立大学等への進学率が高く、魅力ある学校づくりが重要と考えていますので、県への要望等は今しばらく様子を見たいと考えています。

教育長

昨年11月に開催された上十三地区の意見交換会の場において、野辺地高校存続の必要性を主張し、一定の成果はあったものと思っています。学級数が減少することは残念ですが、同窓会や後援会、PTA等と連携して減少の時期をできる限り後にするよう努めたいと考えていますのでご理解をお願いします。



県立野辺地高校

問 団体観光客に対応した 公衆トイレを設置しては



くまがい はるお
熊谷 晴雄議員



のへじ活き活き常夜燈市場と隣接するトイレ

問

昨年開設した常夜燈市場のトイレに、大型の観光バスなどでの団体客や、老人や障害者の方々に使い勝手のよいトイレが設置されれば、集客の増大や地場製品の消費拡大をもたらし、施設の収益向上と産業の振興にも寄与すると考えるが。

町長

市場に隣接するトイレは、男子トイレは小が4基で大が1基、女子トイレは3基で多機能トイレが1基であることから、順番待ちで利用者に迷惑をかけることにつながることは容易に想像できますが、大型トイレのみの早期建設は難しいのではと

考えています。
町の活性化を図る施策の一つである、常夜燈公園付近のベイフロントエリアを整備し、町全体の活性化に結び付けていくベイフロント計画の構想を実現する際に、調査検討をしながら、調査検討をしても対応したいと思えます。



多機能トイレ部分



えと まさき
江渡 正樹議員

問① 役場庁舎整備基本計画をつくっては

問①

今後も町民から原子力立地給付金の半額をいただくのであれば、一刻も早く基本計画をつくるべきと考えるが、

町長

平成24年に小学校の耐震化事業と庁舎建設を目的に、原子力立地給付金の減額を5年間という期限つきで実施し、庁舎建設基金は今年度末で2億9千万円余りの積立額となる見込みです。庁舎建設着手には事業費の3割から4割程度の基金の積み立てが必要と見込まれていましたが、昨年4月の熊本地震を契機に、耐震化が未実施の役場庁舎の建てかえ

に対し財政措置を行う、市町村役場機能緊急保全事業が創設されました。これは、事業費に対する起債が最大90%まで充当可能で、後年度の元利償還金の25%が交付税措置されるといったものです。しかし、残りの部分の償還のために長期的視点に立った財源確保も必要ですので、30年度以降も、原子力立地給付金の一部もしくは全額を減額させていただき、これらの事業に充てさせていただきたいと考えています。なお、今回の財源措置は32年度までと期限があり、今年9月を目途に庁舎建設基本構想を策定し、その後基本設計や実施設計を経て、庁舎建設を実施したいと考えています。

問②

「生ゴミ減量化・紙類の資源回収は町財政を豊かにする」をテーマに、みんなで町長としゃべる会で意見交換してはどうか。

問②

「生ゴミの減量化・紙類の資源回収は町財政を豊かにする」について

町長

町では、県が実施している、食材は使い切る、料理は食べ切る、生ゴミは水気を切るの3つの切るで生ゴミを減らそうキャンペーンを活用し、生ゴミ減量化の普及啓発に努めていきたいと考えています。

また、紙類については回収に係る町からの補助金を引き上げることによって、リサイクルの推進と資源回収に積極的に取り組んでいきます。みんなで町長としゃべる会ではぜひこのテーマを取り上げ、皆様と議論をしたいと思っています。



クリーン・ペア・はまなすに集められたリサイクル資源
(左：缶類、右：段ボール類)



みんなで町長としゃべる会の様子

委員会報告

建設産業保健衛生常任委員会 (5月15日開催)



3月定例会において建設産業保健衛生常任委員会が、去る5月15日に正副委員長が次のとおり決定しました。

委員長	江渡正樹
副委員長	小坂徹
委員	中岡山謙一

総務常任委員会 (5月15日開催)



3月定例会において総務常任委員会が、去る5月15日に正副委員長が次のとおり決定しました。

委員長	野村秀充
副委員長	野坂正樹
委員	古戸熊谷林輝信

正副新委員長・新委員決まる！

広報委員会 (5月15日開催)



広報委員会正副委員長及び委員が5月15日付けで次のとおり決定しました。

委員長	中谷謙一
副委員長	野坂正樹
委員	小野岡山秀徹

議会運営委員会 (5月15日開催)



3月定例会において議会運営委員会委員が、去る5月15日に正副委員長が次のとおり決定しました。

委員長	戸澤栄
副委員長	野村秀雄
委員	小岡山義徹

委員会報告

みちのく丸等の利活用推進特別委員会 (4月23日開催)



物販施設やみちのく丸展示棟のイメージ図

地域戦略課から、①みちのく丸の陸揚げ調査業務、②みちのく丸伝承・利活用（ベイフロント計画推進）調査業務、③両調査業務を踏まえた概算事業費及び事業計画案、④事業推進に係る対応について説明を受けました。

主な質疑応答や意見は以下のとおりです。

委員 『資金調達が全く未定。クラウドファンディングを立ち上げるとのことだが目標は幾らぐらいなのか。』

地域戦略課 「資金調達は国の様々な事業を調査中です。クラウドファンディングはどの部分に充てるかなど目的をしっかりと定めて考えていきます。」

委員 『ベイフロント計画推進事業の収支計画が甘い。コンサルと協議を十分行っていたかどうか。』

委員 『町制120周年式典とフォーラムが終わったらみちのく丸は解体するのが望ましいのではないか。』

委員 『他の大事業があることも踏まえ、綿密な検討を行っていたかどうか。』

町長 「今後、庁舎内に政策調整会議というものを設置し、ベイフロント計画や役場庁舎建設、病院問題、小学校の統合問題など、7項目ぐらいのテーマを挙げ検討していきます。」

原子力エネルギー対策特別委員会 (5月23日開催)



新規制基準に基づいた安全審査に合格したウラン濃縮工場

日本原燃(株)から、新規制基準への適合性審査の状況や、使用済燃料再処理工場及びMOX燃料工場の早期竣工を目指していく考えについて説明を受けました。

また、使用済燃料再処理燃料再処理機構からは、再処理等の事業の実施体制の見直しについて、以下の実施体制を構築していくとの説明を受けました。

再処理等の事業における新たな実施体制	
資金面	<ul style="list-style-type: none"> ◆再処理等に必要な資金を機構に拠出することを原子力事業者に義務付けする。 ◆関連事業の実施に要する費用も拠出の対象とする。
主体面	<ul style="list-style-type: none"> ◆再処理等を着実にを行う責任を有する認可法人「使用済燃料再処理機構」を設立する。 ◆主な業務は、実施計画の策定、拠出金単価の決定・収納、使用済燃料の再処理等とする。
運営面	<ul style="list-style-type: none"> ◆国が一定の関与を行い、事業全体のガバナンス（管理）を強化する。

委員長から 『地域の経済波及効果を含め、工事の安全性や地域の安全性について最善の努力を行っていただきたい。また、隣接市町村と安全協定を結び、より一層の安全安心に向けた連携を密に行っていく体制づくりをお願いしたい。』

との要望がなされました。

北前船寄港地フォーラムin淡路島



全国の北前船の寄港地が連携して今に残るその魅力を発信し、広域観光ルート形成により地方再生に寄与することを目的として平成19年度から開催されている『北前船寄港地フォーラム』が、5月12日（金）に兵庫県淡路島で行われたことを受け参加してきました。

フォーラムでは、江戸時代後期に北前船「辰悦丸」で海運交易に活躍したとされる、高田屋嘉兵衛のフロンティア精神に学ぶと題したパネルディスカッションや、活気あふれるまちづくりを太鼓に込めて打ち鳴らす高田屋太鼓の演奏などが行われ、



北淡震災記念公園 視察研修



メモリアルハウス内の様子

平成7年1月17日午前5時46分に発生した兵庫県南部地震は、マグニチュード7.3、最大震度7を記録し、死者6434名の尊い命が失われました。阪神間と淡路島に大きな被害をもたらしたこの災害は、『阪神・淡路大震災』と名付けられ、活断層である野島断層が動いたことよって発生しました。

この北淡震災記念公園では、神戸大空襲と震災に耐えた「神戸の壁」や、震災当時の建物である「メモリアルハウス」、野島断層のズレや地割れなどをそのまま屋内保存している



断層保存ゾーンの様子

「断層保存ゾーン」などが保存・展示されているところです。近年当町においても豪雨や台風などに見舞われていることから、災害発生の非常時に際し、しっかりとした議論のもと、防災や減災に積極的に取り組み、様々な対策を講じていくことを目的として、上記フォーラムに併せて視察研修を行いました。

議会の動き

- 4月28日 みちのく丸等の活用推進特別委員会
- 5月
- 11月13日 北前船寄港地フォーラムin淡路島
- 15日 総務常任委員会
- 15日 建設産業保健衛生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 広報委員会
- 22日 県原子力施設環境放射線等監視評価会議
- 23日 原子力エネルギー対策特別委員会
- 25日 町村議会広報研修会
- 6月2日 建設産業保健衛生常任委員会
- 2日 総務常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 6月定例会開会 議会運営委員会
- 14日 6月定例会一般質問 議員総会
- 15日 6月定例会 議案等審議 閉会



5月25日に県労働福祉会館で行われた
広報研修会の様子

地域活動写真募集!!

議会広報委員会では、町内で活動しています団体の活動を、『地域活動の紹介』と題して議会だよりに掲載いたします。スポーツイベントやサークル活動、町内清掃など、個人活動以外であればどのような取り組みでも、どのような団体でも結構です。応募の際は、お名前・ご連絡先を記入のうえ、活動内容の分かる写真数点を議会事務局へ送付ください、持参いただいても構いません。

たくさんのご応募お待ちしております！

問い合わせ先：

議会事務局 電話64-2111 内線253・254

(写真は中道ふれあい公園の清掃の様子です)

9月定例会の予定

11日(月)開会

・町長が議案の提案理由説明をします。

・各委員会の委員長が活動の報告をします。

12日(火)一般質問

・議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長等が答えます。

13日(水)～15日(金) 議案等審議

・定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採択が行われます。

○開会時間 9時30分

○詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会を傍聴 しませんか？

9月11日(月)～15日(金)

第2回(6月)定例会

傍聴者 25名

編集後記

空梅雨の六月が終わり、本格的な暑さが訪れる頃となりました。

日頃より議会活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

五月より、二常任委員会、議会運営委員会、広報委員会が新メンバーとなり、心新たに諸案件に取り組んでいます。

今後も皆様方のご意見やご感想、アイデアなどを参考にし、親しみやすい議会だよりの作成に取り組んでまいります。

本誌を通じて議会の活動をご理解いただければ幸いです。

(広報委員長 中谷)

議会広報委員会

- 委員長 中谷 謙一
- 副委員長 野坂 充
- 委員 戸澤 栄
- 〃 岡山 義廣
- 〃 野村 秀雄
- 〃 小坂 徹